

2018年度 認定留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：カナダ ブリティッシュコロンビア大学附属語学学校

留学期間：2018年2月～2018年12月

私は留学中、たくさんのことを経験する中で、日本には知ることのできなかつた多くのことに気がつくことができました。文化の違い、何も知らない新たな地で生活することのむずかしさはもちろんですが、いち人間としてのそれぞれの生き方についての新しい発見がありました。留学先で、私は多くの人に、なぜカナダにやってきたのか聞かれました。私はそれまで、ほとんどの人は英語という第二言語を学ぶことをゴールに留学にやってくるのだと勘違いしていましたし、私もその一人でした。しかし、同じ質問を聞き返してみると、彼らは皆、英語を学ぶことは通過点であって、その先に何か目標を持っている人がほとんどでした。その目標というのは本当に様々で、弁護士になりたいという人、最終的には日本でエンジニアになりたいという人などそれぞれが夢を持ってやってくるのだなということを初めて知りました。年齢も、高校生から50代の大人の方までバラバラで、いくつであってもそういった自分の夢に向かって努力し、生きているというのはとても素敵なことだなと感じました。

日本では、大学を卒業して就職するというのが一般的で、中には自分のやりたいことを突き通す人もいますが、新卒で良い会社に就職することを重要視する人が多いように思います。しかし、自分が本当にやりたいことをするために周りの目を気にせず挑戦し、努力している人の姿というのはとても素敵で輝いていると思います。実際、私も留学生活が始まったばかりのときは、ただ海外生活を体験して英語が喋れるようになったらいいくらいにしか思っていませんでした。しかし、違う環境で生まれ育った人たちと関わりを持っていくうちに、自分の国では当たり前だったことが当たり前じゃないということに気づいたり、逆に他の国ではごく普通のことが自分にとっては珍しいことだったりして、本当にたくさんの驚きがあったと同時に、全く別の他人と理解し合うことの嬉しさ、楽しさを知りました。そのこともあって、私は将来的にも海外の人たちと直接的な関わりを持ち続けながらできる仕事がしたいという夢を持つことができました。機会があれば、もう一度海外で生活できたら良いなとも考えています。異国の地にたった一人で降り立ち、生活していくというのは、もちろん簡単なことではないと思います。しかし、日本にはわからないことは思っている以上にたくさんあるし、そこで得られるものの価値はとても大きいです。もし、留学してみて、私はやっぱり日本で生活したいなと思ったなら、それも一つの大きな発見であると思います。全部が初めてで、でも沢山の人の助けをもらいながら、時には自分自身で決断をして、そんな刺激的な毎日は、今思うと本当

にあっという間だったけれど、間違いなく私にとって人生で一番濃くて、意味のある10ヶ月間でした。